

外国語処理の自動化に關与する神経基盤: fMRI による検討

発表者 島田浩二,<sup>1,2)</sup> 田邊宏樹,<sup>1,2)</sup> 牧田快,<sup>1,2)</sup> 山崎未花,<sup>1)</sup> 吉田晴世,<sup>3)</sup> 横川博一,<sup>4)</sup> 定藤規弘<sup>1,2)</sup>

所属機関 1) 生理学研究所 心理生理学研究部門  
2) 総合研究大学院大学 生命科学研究科  
3) 大阪教育大学 教育学研究科  
4) 神戸大学 国際コミュニケーションセンター

研究概要

外国語（第二言語）学習者の目標は、学習言語を滞りなく流暢に運用できるようになる、すなわち母語のように言語処理が自動化されることであると考えられる。……以下省略。